

国際歯科医療安全機構 学術研修会名古屋

ごあいさつ

国際歯科医療安全機構 学術研修会名古屋 主管代表
名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学
日比英晴

世界は未曾有の事態に直面し、ますます本機構の重要性が高まっています。その研修会の主管を担当するよう私どもが指名をいただいた際には、まさに本学が注力してきた医療安全を看板に準備を始めました。これは2019年夏のことで、その後つぎつぎと起きたできごとから、開催できるのか？形式は？内容は？など最終的に決まったのは2020年11月中旬です。この状況だからこそ求められるものがある、それを反映してテーマは当初よりかなり拡大し「喫緊の課題：医療安全、放射線管理、感染対策を考える」としました。講師は最前線にもおられながら大所高所から日本の現状を俯瞰できる先生方です。急なお願いでしたのに快諾してくださり心より感謝申し上げます。研修会はおよそ1年ぶりの再開です。待ち望んでいた先生やスタッフの方々がおられるでしょう。本会が閉塞的な現状を打破し、さきざきは国際的にも展開できるような機会になることを切に願います。

【日 時】 2021年1月17日（日）13:00～18:00

【形 式】 Web 開催（Live 配信）

【対 象】 歯科医師、医師、歯科衛生士、歯科技工士、看護師、学生

【参加費】 歯科医師・医師 3,000 円
歯科衛生士・歯科技工士・看護師 1,000 円
学生 無料※

※学部学生、医療系学生、外国人留学生（大学院生を含む）

【プログラム】

基調講演：「ウィズコロナ時代の感染拡大防止策を歯科から考える」

瀬戸 暁一（国際歯科医療安全機構 理事長）

講演1：「新型コロナウイルスパンデミック期における口腔健康管理の重要性」

花田 信弘（鶴見大学歯学部探索歯学講座 教授）

講演2：「消毒・滅菌方法の正しい理解、非常時の対応」

瀬島 俊介（バイオメディカルサイエンス研究会 理事長）

講演3：「歯科診療における診療用歯科放射線の安全管理ガイドラインに関して
～歯科医療機関において対応・整備すべき点～」

浅海 淳一（日本歯科放射線学会 理事長）

講演4：「歯科医療関係者が知っておいてほしい感染症とその対策：感染症科医の立場から」

森岡 悠（名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部 助教）

講演5：「患者安全の全体像」

長尾 能雅（医療の質・安全学会 理事長）

【参加登録】

- 本学術研修会は Web 開催です。参加には事前に登録が必要です。
- 参加登録は下記のリンクからお手続きください。

参加登録 URL : <https://gsdp.jp/20210117-nagoya/>

※学生として参加登録する場合は学生証のコピーをメールに添付して事務局までお知らせください。

※個人情報 は法令に従い適切に管理します。

【受講証】

本学術研修会は、基本診療料および外来診療環境体制加算に関する施設基準に係る届出に必要な院内感染防止対策、医療安全に関する内容を含みます。

国際歯科医療安全機構の会員には、学術研修会終了後に受講証が発行されます。

※未入会の方は「当機構への入会」ページをご覧ください。

【主 催】 一般社団法人 国際歯科医療安全機構

【後 援】 愛知県歯科医師会，愛知県歯科技工士会，愛知県歯科衛生士会

【主 管】 名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学
代表 日比英晴

<研修会事務局>

名古屋大学大学院医学系研究科顎顔面外科学内
国際歯科医療安全機構 学術研修会名古屋 事務局

実行委員長：小田知生 準備委員長：山本憲幸

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: 052-744-2348 FAX: 052-744-2352